経営学Ⅰ

科目ナンバリング　MAN-101
【Ⅳ】　選択　2単位

前田　清

1. 授業の概要（ねらい）

（1）私たちは色々な形で企業と接点を持っていますが、本授業は、企業と世の中がどのようにかかわっているのか、さらに、企業がどのような方針と仕組みで動いているのか基礎的な理解を得ることを目的としています。
（2）本授業により、今後様々な専門科目を学習する上で必要となるような、そして、これから大学生として、また、卒業後社会人として生活するにあたり、役に立つ企業にかかわる基礎的な知識を学ぶことができます。
（3）経営学の歴史は比較的新しく、概ね120年程度ですが、1960年代以降の発展はめざましく、現実の企業を分析し、説明する多くの理論やアイデアが創出されています。これらの諸理論の学習を通して、就職やキャリア形成のために大切な考え方が身につきます。
（4）前期は特に経営学の導入部分にあたる基礎的な理論や重要な考え方をわかりやすく説明しつつ、楽しく授業を進めていきます。

2. 授業の到達目標

（1）社内の中で活動していく上で必要な幅広い教養を、経営学と企業経営を中心として、身に付けることができる。
（2）経営学の基礎知識を修得する。
（3）新しいことを学ぶことに対する高い意欲・関心、積極的な態度を修得する。
（4）決められたこと、求められたことを実行するself discipline（自己鍛錬・修養）を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

（1）授業への積極的な参加・態度及びself discipline（自己鍛錬・修養）　＜35%＞
　※自己鍛錬・修養とは、自らを律し、求められたこと、決められたことをしっかり履行することを含みます。
　　従って、出席も当然自己鍛錬・修養に含まれます。
（2）授業で提示する小テスト、課題、中間レポート等の提出とその評価　＜30%＞
（3）最終レポート＜35%＞
　※期末試験は行いませんが、最終授業における最終レポート（ハードコピー）の提出が期末試験の代わりになります。これらを総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
片岡　信弘他　「はじめて学ぶ人のための経営学入門　バージョン2」　文真堂
参考文献
必要な場合には、、授業中に示します。

5. 準備学修の内容

（1）「日本経済新聞」などの新聞に掲載された企業関連の記事を興味をもって読んでください。
（2）毎回、教科書の該当単元を事前に読んで、重要だと思うところをマークしておいてください。

6. その他履修上の注意事項

（1）授業中に講師から質問したり、意見を聞いたりします。又、ペアワークをする場合もあります。積極的に回答したり、授業中に進んで質問や発言することを歓迎します。
（2）授業中の私語や飲食は謹んでください。
（3）授業の内容、授業の進め方、受講ルールなど詳細はガイダンス時に説明します。
（4）授業が遠隔形式となった場合には、シラバスの内容を一部変更する可能性があります。
（5）授業で使用する資料や音声をLMSに掲載することがありますが、本授業を受講する学生の個人使用が前提です。本人限りの使用とするよう徹底してください。著作物を取り扱っていますので、著作権法の制限を受けます。複製、転載などの二次使用は厳禁です。

7. 授業内容

【第1回】　（1）ガイダンス（授業の内容、授業の進め方、など）
　　（2）経営学とはどのような学問か
【第2回】　経営環境と企業経営（生活を支える企業、環境変化と企業経営）
【第3回】　現代の企業社会（新しいワーキングスタイル）
【第4回】　会社制度とコーポレートガバナンス（会社は誰が所有し、経営しているのか）
【第5回】　会社の目的（企業は何を目指して活動しているのか）
【第6回】　経営資源と経営戦略①（企業が利用できる経営資源はどのようなものがあるか）
【第7回】　経営資源と経営戦略②（企業が利用できる経営資源はどのようなものがあるか）
【第8回】　組織としての会社（どのようにして経営し、組織をつくるのか）
【第9回】　会社と情報（企業組織における情報の役割と管理とはなにか）
【第10回】　協調と競争戦略（企業はどのように競争し合い、協調するのか）
【第11回】　マーケティング（物やサービスが売れるしくみはどのようなものか）
【第12回】　生産と研究活動（どのように製品やサービスを開発し、生産しているのか）
【第13回】　会社とお金の関係（どのように資本を調達し、資金を運用するのか）
　　※この回の授業は、オンライン（LMSによるオンデマンド形式）で行います
【第14回】　人材の活用、企業文化（どのように人材を活用し、文化をはぐくむのか）
【第15回】　まとめ